

高齢者人口が一気に拡大する2040年、 日本はどうなるのか？ その処方箋とは？

深刻な少子高齢化問題が叫ばれるなか、人口の規模が大きい団塊ジュニア世代が65歳以上となり、人口構造が修復不能なレベルに達する「2040年」。労働力人口の大幅な減少、逼迫する医療・介護・年金制度、インフラの老朽化、物流停止、地方消滅など、確実に訪れる「個人高負担社会」の衝撃を多角的に解説する新刊の登場です。前例のない複雑な社会構造の変化を「自分事」として読み解き、どう生き抜いていくのかを考える一冊！

2026年7月下旬発売予定

B5変型判/128ページ/定価：2200円(税込)



2040年には
3人に1人が
高齢者に！

15年後には……

GDPランキングは6位に低下、
公道の半数以上が老朽化、
働く世代が20%減

これからの日本に起こる変化を
グラフ・図解で読み解く！

昭文社

高校必修化の歴史・地理総合にも役立つ！『地図でスッと頭に入る～』シリーズ

世界の教養が身につくおもしろ雑学／縄文時代から現代まで、覚えやすさNo.1の歴史ガイド／
歴史上の天才たちの生き方を読み解く偉人編など、続々刊行中！

MAPPLE
昭文社

ホームページから注文書をダウンロードできます！
<https://sp-mapple.jp/forstore/>

昭文社 書店のみなさまへ



Chapter 1 2040年問題とは何か?

高齢化が進む日本社会

日本で現在の子孫世代に比べて平均年齢が急激に上昇しており、2040年には10年と比較して、およそ10歳平均年齢が上がる考えられています。

日本の平均年齢の推移

年	平均年齢
1950	22.5
1960	26.4
1970	29.0
1980	33.5
1990	37.7
2000	41.5
2010	45.0
2020	48.5
2030	51.5
2040	55.4

2040年問題
超高齢化社会が訪れる
私たちは2040年代をどう乗り越えるか

超高齢化がピークを迎える 2040年、われわれの暮らしに 起こり得るさまざまな問題と その対策をわかりやすく解説。

巻頭特集 「数字で見る2040年問題」

Chapter1 2040年問題とは何か?

Chapter 2 2040年の医療と介護

年3%のペースで医療費は増加

高齢化が進むにつれて、医療費が急激に増加する考えられています。2040年には平均医療費が1兆1,000億円に達する見込みです。

医療費の急激な増加

年	医療費 (兆円)
2015	38.9
2020	47.1
2025	53.4
2030	58.2
2035	63.0
2040	68.1

現在の財源では間に合わないため
全国で救急車の有料化も検討視野に

Chapter 3 2040年の交通と物流

地方の足は自動車

都市部では公共交通機関が充実している一方、地方では自動車に依存している人が多く、免許取得者が減少するにつれて深刻な問題に直面している。

免許取得者が減少するにつれて深刻な問題に

求められる交通手段の充実

Chapter3 2040年の交通と物流

Chapter2 2040年の医療と介護

Chapter 4 2040年の産業と働き方

「生涯現役」が日本の合言葉に

2040年には人手不足や高齢化の進行を背景に、定年を越えて働く人が増加する見込みです。生涯現役社会が訪れると予想されています。

人手不足と老後の資金不足で
定年がさらなる延長の予定
70歳現役社会が訪れる

Chapter 5 2040年の育児と社会保障

晩婚化が家族の負担を生む

晩婚化が進むにつれて、子育てと介護の両方を行う人が増加し、家族の負担が増える見込みです。

子育てと親の介護が重なる

Chapter5 2040年の育児と社会保障

Chapter4 2040年の産業と働き方

おかげさまでシリーズ累計100万部を突破しました!

商品名	ご注文数	貴社番線印
図解でスツと頭に入る 2040年問題		
定価：2200円(税込) ISBN978-4-398-14797-4	部	ご注文日： 年 月 日

■ご注文 昭文社 FAX 03-5166-3400

ホームページから注文書をダウンロードできます! <https://sp-mapple.jp/forstore/>

昭文社 書店のみなさまへ